

宮永岳彦記念美術館だより

2017 10月



発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2 TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

宮永岳彦 本を描く

2017年9月21日(木) ▶ 2018年5月20日(日)

∞ 展示作品より今月の一点 ∞

《大藪春彦著『野獣死すべし』装幀原画》



洋画家、グラフィックデザイナーなどさまざまな顔をもつ宮永岳彦の多彩な画業の中で、連載小説の挿絵や書籍の装幀は大きな一角を占めています。

当時軽視されがちだったこれらの分野ですが、宮永は「さしえにはさしえの美学がある」と画家としての強い意志をもって制作にあたり、挿絵や装幀を単なる添え物ではなく物語と時代の息吹を表現した絵画作品として昇華し、結果的に挿絵というジャンルの地位自体も引き上げていきました。

この『野獣死すべし』は、後にハードボイルド作家として大成する大藪春彦のデビュー作で、幾度となく映画化された小説です。野獣のような男を主人公とした、日本のハードボイルド小説のさきがけとなった物語ですが、宮永はあえて都会の街並みとコケティッシュな女性を切り取り、逆説的にハードな男性像を浮き彫りにしています。

1965年 32.0×41.0cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

◆ 今月の一冊 ◆

宮永画伯が描いた装幀の本の内容や作家を毎月御紹介いたします。

本作は見習いの天使が人間たちの住む下界を覗き見し、そこで起こる事件や悲喜こもごもから人間について学んでいく、という作品です。ミステリ仕立てから心温まるほのぼの系まで多彩な短編集で、読者は宮永の描くかわいらしい天使とともに人間の優しさや愛すべき愚かしさを覗き見している気分になっていきます。



佐野洋著『見習い天使』(新潮社)1963(昭和38)年

市民ギャラリーのご案内 入場無料

第3回 山本静護・直樹兄弟展

10月4日(水)~10月8日(日)
10:00~17:00 最終日 16:00まで

兄弟で、画風の異なる絵画をそれぞれ15点程、展示します。絵を描く楽しさが伝われば、と思っています。

こゆるぎ写真事務所 国鉄型電気機関車写真展

10月25日(水)~11月5日(日)
10:00~18:30 最終日 16:00まで

鉄道ファン必見! 小室刀時朗、家田治二人による、国鉄時代に製造された電気機関車の写真約50点を展示いたします。

2017.11月の市民ギャラリー展覧会の予定

松風会 水墨画展(仮) 11月7日(火)~11月12日(日)

秦野市観光課写真展 11月14日(火)~11月25日(土)

鶴巻デジタル写真教室展 11月28日(火)~12月3日(日)

※10月16日(月)から22日(日)まで、市民ギャラリーは衆院議員選挙期日前・当日投票所となるため利用できません。

※10月1日(日)から2018年4月分までの予約を受け付けています。

お知らせ 市民ギャラリーの料金が変わりました

秦野市全体ですすめている公共施設の使用料金見直しにともない、10月1日予約分から、市民ギャラリーの使用料などが改定されました。

御利用の皆様には、御理解のほど、よろしくお願いいたします。

お問い合わせは、市生涯学習文化振興課へ(Tel.84-2792)。

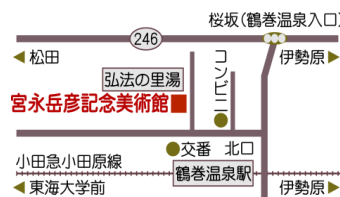
主な変更点

市内の方(1日)
2500円 ⇒ 5000円
市外の方(1日)
5000円 ⇒ 10000円

※入場料ありの場合は100%、営利目的の場合は150%加算

- ★ 地域振興券使用可(現金併用不可)
- ★ 子どもの学びを応援する「はだのつ子応援券」制度を新設
- ★ 毎月1日10時の予約申込が重なった場合は抽選

美術館へのアクセス



- ◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

10月の休館日: 2日(月) 10日(火) 16日(月) 23日(月) 30日(月)